生産力の強化と農業所得の向上を図る

∼農業振興計画の助成事業∼

当 J A は地域農業生産基盤強化のため農業振興計画を 策定し、その計画に関わる助成事業を展開しています。 令和元年度はりんごや米、ハウス栽培など農業振興のた め、上限3000万円を助成。

4月中旬から各地区でりんご苗木を配布。りんご苗木助成は全助成事業の4分の1を占めています。1人につき最大30本で1本あたり500円以内。りんご苗木の助成は674件が申し込み、配布本数は約1万2000本となりました。

4月中旬から各地区でりんご苗木の配布が始まり、生産者は「樹の更新のため、毎年申し込んでいる。苗木の助成事業は今後も続けてほしい」と話しました。

営農購買部営農課の佐藤伸樹課長は「りんごの苗木は、 JA奨励品種着色系など5品種に絞っており、品質向上 や省力化が期待できる。今後も組合員のニーズに応じた 助成を予定しており、足腰の強い農業生産のため利用していただきたい」と話しました。



黒石地区の受け渡し



平賀地区の受け渡し

感染予防をしっかり

~新型コロナウイルス感染防止対策徹底~

当JAは、政府による緊急事態宣言が発令されたこと を受け、4月下旬から新型コロナウイルス感染防止対策 を徹底しています。

各支店の金融や共済・各グリーンセンター購買の窓口などでは、飛沫感染防止対策として透明フィルムを設置し、職員はマスクを着用してお客様の対応を行っています。施設入口にはアルコール消毒液を設置し、お客様へ入店・入室の際に手を消毒するようお願いしています。また会議を開く際は、出席者同士の距離を空け、会場は密閉にならないよう通気を良くし、時間短縮も行っています。

JAでは今後も皆様の命と健康を守るため、事態が収束するまでの間感染防止対策を徹底して行います。



窓口で透明フィルム越しに対応する職員(右)

20人が講習会や試験に協力

~ JA指導協力員委嘱状交付式~

みなみ地区りんご栽培指導協力会(相馬浩次会長)は 4月8日、本店で指導協力員委嘱状交付式を開き、今年 は新たに任命された6人を含む20人に委嘱状を交付し ました。

同会はりんごの生産で、同地区の生産指導の普及推進と系統販売の高揚を図ることで、生産者の所得向上を目的に活動している。協力員は、JAが主催する摘果や夏期管理などの講習会で若い後継者などへの技術指導、農薬・肥料の試験などに協力します。

同会の相馬会長は「地域の農業の発展のためにJAの講習会や農薬、肥料の試験に協力し尽力したい。また、会の活動を通じて自分たちの農業技術の向上と知識習得につなげていきたい」と話しました。



委嘱状を受け取る指導協力員



